

当科において炎症性腸疾患の治療を受けている方 およびそのご家族の方へ

—「炎症性腸疾患と月経に関連する症状の変化および 妊娠に関わる意識調査」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 前田嘉信

研究責任者 岡山大学病院 炎症性腸疾患センター 准教授 平岡 佐規子

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

炎症性腸疾患は10歳代から20歳代での発症が多いとされ、女性であると月経や妊娠・出産といったイベントに関連する時期でもあります。炎症性腸疾患患者さんの症状が月経によりどのように変動があるのか、また、月経に関連した症状に対しどのように対処しているのか、ということはあまり調べられていないのが現状です。また、海外では炎症性腸疾患の患者さんは子どもを持つ希望がない人が炎症性腸疾患でない人と比べて多いとするデータがあり、当院ではどのようなか、また私たち医療者側から正しい知識をお伝えできずにいたために、子どもを持つ希望がなくなってしまう方がいらっしゃるかを調べることで、よりよい知識の伝え方やタイミングを把握することができるのではないかと考えております。男性の患者さんでも、治療薬についての不安や遺伝についての不安からお子さんを持つことを諦める方もいらっしゃるようで、調査を行うことで、男性患者さんへの妊娠に対する情報提供を行う必要性を検討することができるのではないかと考えました。

この研究の目的は炎症性腸疾患患者さんの月経に関連する調査、妊娠・出産、育児希望（お子さんをほしいと思うか）についての意識調査を行い現状を把握することです。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究で炎症性腸疾患患者さんの月経に関すること、妊娠・出産、育児希望についての調査を行うことで、正しい情報提供のタイミング、お伝えの仕方や、女性患者さんのみでなく男性患者さんへも情報提供が必要となるかが明らかになり、今後の診療に役立つ可能性が考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

倫理委員会承認後～2025年12月31日の間に岡山大学病院消化器内科において炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）の治療を受けられた方200名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2026年3月31日

3) 研究方法

倫理委員会承認後～2025年12月31日の間に当院において炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）の治療を受けられた方で、アンケートをもとに炎症性腸疾患の女性患者さんの月経に関連した症状の変動や、男性患者さん女性患者さん双方の妊娠・出産への認識について調査を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報としてはお渡しするアンケートにお答え頂いた情報のみを用います。アンケートにお答え頂く項目にはあなたの氏名、生年月日などの個人情報を含みませんが、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院消化器内科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究においてはアンケートが無記名であるため個人情報が存在せず、開示することはできません。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 消化器内科

氏名：平岡佐規子

電話：086-235-7219（平日：9時00分～17時15分）

ファックス：086-225-5991